

能登半島の先端、珠洲まで続く、奥能登の大動脈

珠洲道路

整備の目的

「珠洲道路」は、能越自動車道のと里山空港ICから珠洲市蛸島町へ至る48.6kmの道路であり、奥能登地域の背骨として、広域交流の促進や地域経済の活性化、さらには住民の安全・安心の確保を図る上で重要な幹線道路である。

珠洲市正院町小路から蛸島町までの2.5kmについては、道路の勾配が急であることに加え、幅員が狭く、観光バスなどの大型車のすれ違いに支障をきたしていることから、令和元年度より、急勾配の解消および道路の拡幅整備に取り組んでいます。

また、上りの急勾配が長く続く、能登町大田原地内の1.2kmについては、平成29年度より、ゆずりレーンを設置する整備を行い、令和2年9月に完成しています。引き続き、急勾配の下り坂と上り坂が連続し、交通事故が発生している、能登町当目地内の1.2kmについて、令和2年度よりゆずりレーンの整備に取り組んでいます。

期待される効果

1. 安全・安心な交通の確保

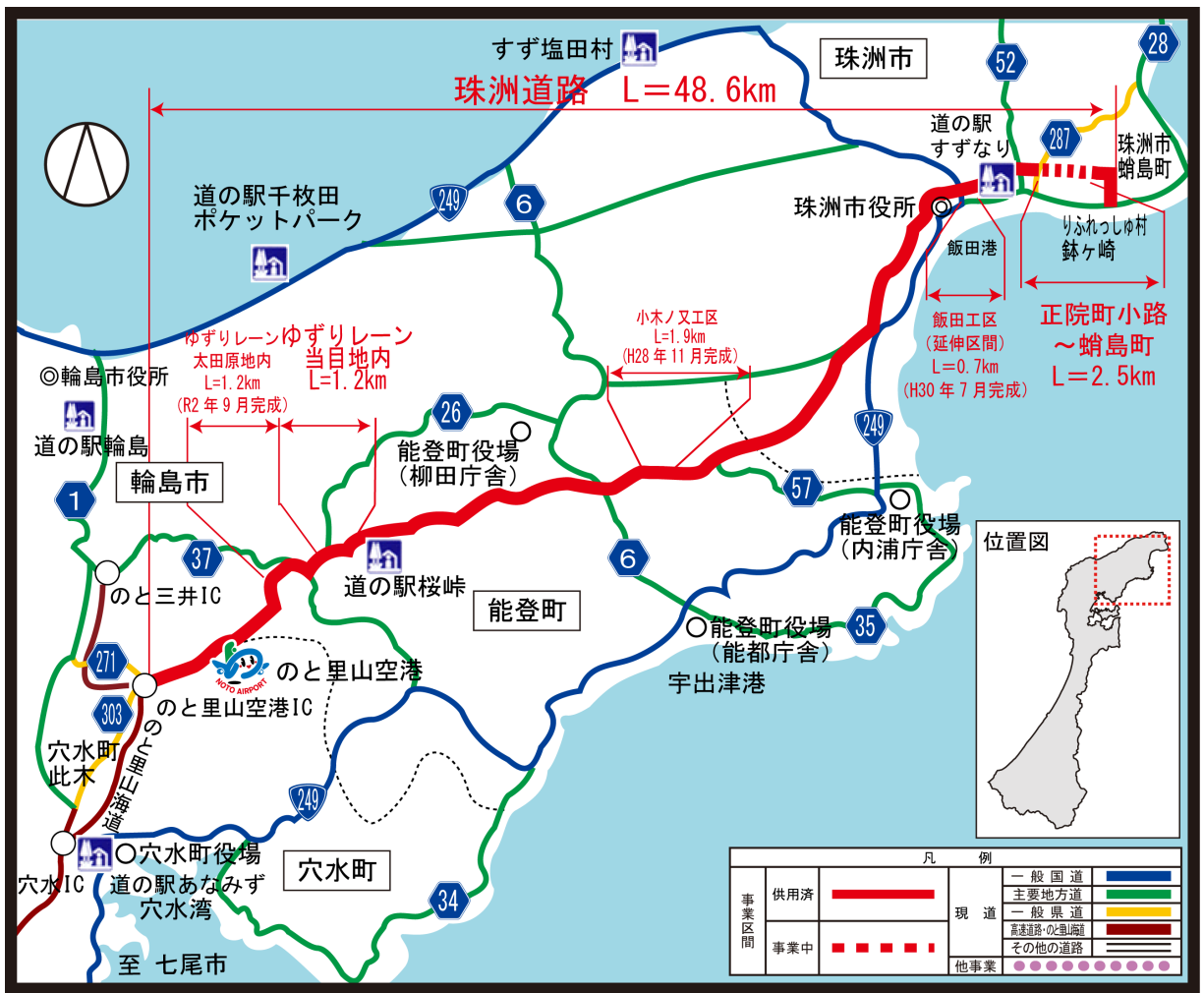
急カーブの解消により、交通の難所区間が解消され、奥能登を訪れる観光客や地域住民の安全・安心な交通が確保されます。

2. 地域間連携の強化

のと里山海道と珠洲市を結ぶ東西ルートが強化され、奥能登の地域間連携の強化に寄与します。

3. 広域交流の促進

のと里山海道や能越自動車道とも一体となって、広域交流の一層の拡大が図られ、移住・定住の促進や企業誘致、雇用創出など、奥能登地域の発展に寄与します。



- 事業の概要**
- 路線名 珠洲道路 (バイパス部)
 - 起点・終点 珠洲市正院町小路～蛸島町
 - 事業延長 L=2.5km

 - 路線名 珠洲道路 (ゆずりレーン)
 - 起点・終点 能登町当目地内
 - 事業延長 L=1.2km

R 2.9月完成 ゆずりレーン太田原工区